

平成26年度 第1回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成26年 7月 1日(火) 午後4時00分から午後5時30分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 会議室
- 3 出席者 伊東勝正委員 青木和浩委員 齊藤輝一委員 梅澤章子委員  
齋藤奈智子委員 富所正史委員 秋山 剛委員 吉野高明委員
- 4 欠席者 五十嵐靖宏委員 本郷美代委員
- 5 事務局 スポーツ振興課 渡邊課長 岩井副主幹 白鳥主査 清田主査補
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局
2. 委嘱書交付 大木弘教育長
3. あいさつ 大木弘教育長

<委員紹介>

<事務局紹介>

- ・印西市スポーツ推進審議会条例

— 事務局説明 —

- ・会長、副会長の選任

委員より事務局一任の声あり。会長に青木和浩委員、副会長に富所正史委員を選出。

— 承認 —

青木会長よりあいさつ

4. 議 題

<議長 青木会長>

- (1) 平成26年度スポーツ事業について

- ・平成26年度体育事業(計画)

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) 市スポーツ振興における成果と基準をどのように考えているか。

(事務局) スポーツ振興基本計画にもありますが、成人の場合、週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人(約50パーセントになることを目指す。)とありますので、これが一つの目安になると考えます。

(会 長) ただ、非常に分かりにくい物差しではありますね。このスポーツ振興基本計画も29年までの計画となっていますので、この計画の検証と、次期計画を策定するにあたっての改善点等について、今後このスポーツ推進審議会でも協議していくということになると考えます。

(2) その他

- ・印西市スポーツ行事補助金
- ・全国高等学校総合体育大会空手道競技大会
- ・関東大学女子駅伝対校選手権大会
- ・スポーツフェス2014
- ・クライミングワールドカップ2014 INZAI大会

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

- (委員) スポーツフェスと名称を変えて4年目となりますが、実際に私も携わっていて、年々参加者が微増という印象があるが、スポーツフェスのコンセプトやターゲットなど、どのような考えをもっているか。
- (事務局) 幅広い年代の方々が楽しめるようなイベントを目指しているが、種目の数が多いように感じているので、今年の種目については、昨年度の各種目の参加者数等を検証して、種目の絞り込みを考えている。
- (委員) 確かに、種目数は多く感じます。また、問題点として、各種目の時間が重なってしまうことがあったので、その点に関しては改善をお願いしたい。
- (委員) 以前、私もスポーツフェスのマラソンに参加したことがあるが、参加者のほとんどが中学生で、一般の大人は3名だった。今は行っていないようだが、部活の延長のようだった。あれでは大人の出場がないのは当然。もう少し何か工夫が必要だったのでは。
- (委員) 今、印西市の人口は増えているのか。
- (事務局) 若干ではありますが増加傾向にあります。
- (委員) 小学生の数はどうか。
- (委員) 地区によって様々ですが、全体的には微増という感じです。
- (会長) 高校総体に参加する選手、関係者等の宿泊はどのようになっているのか。
- (事務局) 宿泊はJTBが窓口となっており、電車で1時間圏内、成田、我孫子、鎌ヶ谷、東京、埼玉まで範囲を広げております。
- (会長) 現在、皆さんが活動している上で感じている問題点等がありますか。
- (委員) 牧の原スポーツクラブの事務局をしています。総合型地域スポーツクラブとして、家族単位で参加してもらえるようなスポーツクラブづくりを目指しているが、例えば家族4人で登録があっても、実際に活動しているのはそのうちの1人、2人。家族での参加までには至っていない。ただし、そのような中でも若手が育ってきている実感はある。
- (委員) 私はパークゴルフ協会に加入しているが、パークゴルフは3世代で楽しめるスポーツなのに、若い方がいない。みんな65歳以上の高齢者なので、若い方の取り込みが必要。また、昨年有料施設のパークゴルフ場がオープンしたが、出来れば土日に無料でプレーができるパークゴルフ場があると

良い。勤めている方々は土日の活動が主なので。

#### 4. 閉 会